

2016年A B A C第1回サンフランシスコ会議ニュースリリース【仮訳】

**A B A Cは大企業および中小企業のために
A P E C地域におけるデジタル革命を後押しする**

サンフランシスコ
2016年2月28日

A P E Cビジネス諮問委員会（A B A C : APEC Business Advisory Council）は、アジア太平洋地域における各国および地域の経済成長を優先し、経済連携・政策協調にむけた統合的な取り組みを促進することを2016年の活動の中心に据える。A B A Cは、本年11月にリマで開催される直接対話でA P E C首脳に対して行う提言作成の準備を行い、サンフランシスコでの本年最初の会議を閉会した。

A P E Cのビジネスリーダー達とA P E C各エコノミーの高級実務者は、シリコン・バレーの活気に満ちたテクノロジー環境に接する機会を利用して、科学技術がいかに経済成長を増進しうるかということについての認識を深めた。すなわち、エグゼクティブ・フォーラムに参加し、作業部会を招集し、フェイスブック、グーグル、ペイパル、ドルビーの各社を訪問した。マイクロソフトが提供した「アワー・オブ・コード」が会合の最後を飾り、重要課題であるSTEM教育¹への取り組みという、A B A Cメンバーが共有する責任を強調した。そして、さまざまな分野の議論においてデジタル技術への言及があった。「新たな技術がもたらす機会と課題をくまなく検証し、A P E C地域のビジネス界が協調して一連の提言を策定することが、本年のA B A C活動で最大の関心事となることにつき合意した。」と2016年A B A C議長のフアン・ラフォー氏は語った。

A P E C各エコノミーにおいては零細・中小企業（MSMEs）が企業数の97%、雇用の90%を占めることを踏まえて、A B A Cは、MSMEsがデジタル革命に参加し、その成果を享受する方法についても、説得力のある提言を策定する。A B A Cはまた、MSMEsがより広く国際貿易に関与することを妨げる障壁—これにはデジタル・インフラや物的インフラの不備も含まれる—にも対処する。この取り組みは、グローバルな製造に携わっているさまざまな産業に影響を与えることになる。われわれはeコマースを活用し、MSMEsの資金調達手段を拡大するための措置を講じることを推奨する。

「法の支配は、ビジネス環境全般と不可分であり、今年一年を通して議題として取り上げる。政策立案者が自らの手で、より透明性が高く、より効率的で、より統合されたアジア太平洋地域を構築できるよう、ビジネス界が役に立つ見識を提供することを期待する。」とラフォー氏は話した。

さらにA B A Cは、各地域の自由貿易協定の最新動向を受け、アジア太平洋自由貿易圏（F T A A P : Free Trade Area of the Asia-Pacific）実現に向けた深い議論を行うことになる。

「これまでの経緯における大きな進展に照らし合わせると、A P E CがF T A A Pをさらに前進させる条件は整っている。」「東アジア地域包括的経済連携（R C E P : Regional Comprehensive Economic Partnership）をめぐる交渉は継続中であるが、環太平洋パートナーシップ（T P P : Trans-Pacific Partnership）協定交渉は首尾よく妥結した。太平洋同盟（P A）は軌道に乗っており、さらなる深化を進めている。T P P加盟国政府による早期の協定批准がなされれば、地域レベルの統合が推進されることに加え、R C E Pが従来よりも積極的な交渉日程を設定することが期待される。」ラフォー氏は以上のように述べた。

¹ S T E Mは、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Mathematics（数学）の頭文字。S T E M教育とは、科学技術リテラシーの普及・向上に向けた各分野の個別および学際的教育を指す。